

大館市本庁舎建設実施設計業務
実施設計説明書【概要版】



2018.09

久米・秋田県共同組合設計共同体



「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」の理念と方針を踏まえ、「歴史まちづくりの拠点」となる庁舎をつくります。新庁舎は、行政機能の充実と「市民の安全・安心を確保した庁舎」、「周辺の歴史的建築物、文化施設等をめぐる交流拠点」の整備を図ります。

**「大館を象徴する歴史や風物詩を、
未来へのまちづくりと共に見守り続ける庁舎」**

□ 4つのコンセプト

1. 歴史まちづくりと市民を結ぶ庁舎
2. 100年間市民の安心安全を見守る庁舎
3. 賑わいと機能が共存する市民が創る庁舎
4. 大館の自然の恵みを活かすエコ庁舎

新庁舎建設の基本理念

「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」より

「市民に親しまれ、安心して暮らせる街の拠点となる庁舎」

新庁舎建設の基本方針・具体的目標

- | | |
|---|--|
| <p>① 防災拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部機能の強化 ・ 市民の安全・安心の確保 <p>② 市民サービスの向上が図られる効率的な庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来庁者にとって分かりやすく、職員が対応しやすい庁舎 ・ 来庁者が安心できる環境の庁舎 ・ 窓口手続きがスムーズな庁舎 <p>③ 市民に親しまれる開かれた庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に利用できる市民交流空間を備えた庁舎 ・ ユニバーサルデザインに配慮した庁舎 <p>④ 環境に配慮した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギーの活用と省エネ化 ・ 緑化の推進、施設の長寿命化 | <p>⑤ まちづくりと連動した庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトシティの核となる庁舎 ・ 桂城公園との一体的な整備 <p>⑥ 市民が誇りを持てる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産材の使用及び展示スペースの設置 ・ 市の象徴としての景観形成をする庁舎 <p>⑦ 分庁舎を利活用し、将来の機能集約や機構改革等にも対応できる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据えた行政サービスに対応できる庁舎 ・ 市有建物の有効活用 <p>⑧ その他の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> I 高度情報化への対応と防犯機能を備えた庁舎 II 行政機能 III 議会機能 |
|---|--|

設計概要

敷地概要

地名地番 : 秋田県大館市字中城 4-7、5-29、20、22-3 番地、字片町 9-1
 住居表示 : 秋田県大館市字中城 20 番地
 敷地面積 : 13,673.32 m²
 用途地域 : ①商業敷地 (400% /80%) ②第一種住居地域 (200% /60%)
 防火地域 : ①準防火地域 ②法 22 条地域
 日影規制 : ①指定なし ②公園側敷地 : 5h-3h (+4.0 m)
 道路斜線 : ① 1.5 × L、20 m ② 1.25 × L、20 m
 敷地斜線 : ① 31+ (2.5 × L) ② 20+ (1.25 × L)
 北側斜線 : 指定なし
 浸水予測 : 浸水想定区域外
 その他地域地区 : 指定なし
 前面道路 : 〈西側〉国道 7 号 幅員 15.1 m
 〈南側〉市道中城金城線 幅員 15.2-15.8 m

建築計画概要

建物用途 : 事務所 (庁舎) 08470
 工事種別 : 新築工事
 建築面積 : 2,495.25 m² ※建蔽率 : 18.24%
 述べ床面積 : 7,636.13 m² ※容積率 : 55.84%
 階数 : 地上 6 階
 最高の高さ : 25.65 m
 予定工期 : 工事着工予定 H31 年 4 月 (※庁舎)
 工事竣工予定 H32 年 12 月 (※庁舎)
 駐車施設 : 普通車…124 台 (西側 : 96 台、東側 : 24 台)
 小型車… 10 台
 障害者用… 7 台 (西側 : 6 台、東側 1 台)
 駐輪施設 : 自転車…平置き約 48 台 バイク…平置き 7 台

構造計画概要

構造形式 : 免震構造 (基礎免震)
 構造種別 : 鉄骨造
 架構形式 : 地上準ラーメン構造
 基礎形式 : 杭基礎 (場所打ち鋼管コンクリート杭)

電気設備概要

受変電設備 : 受電方式…6.6kV1 回線受電 屋外キュービクル
 一般電灯…300kVA
 一般動力…500kVA
 非常保安電灯…100kVA
 非常保安動力…300kVA
非常用発電機設備 : ディーゼルエンジン発電機…400kVA
 燃料 ……軽油
 稼働時間…72 時間 (オイルタンクによる備蓄)
太陽光発電設備 : 太陽光パネル…10kw
 蓄電システム…10kw (蓄電池 15kw)
幹線動力設備 : 動力…三相 3 線 200V
 電灯…単相 3 線 200V/100V
照明設備 : LED 照明器具
 人感センサー及び集中管理 (共用部)
雷保護設備 : 棟上導体方式 (導体は構造体を利用)
 ※新 JIS レベル III
自動火災報知機設備 : R 型受信機
その他設備 : 情報表示設備、映像音響設備、拡声設備、誘導支援設備
 テレビ共同受信設備、入退室管理設備

空調換気概要

熱源設備 : 空気熱源ヒートポンプチラー (寒冷地仕様)
 ビル用マルチエアコン (EHP)
空調設備 : 床吹出空調機による床放射冷暖房 (1,2F 執務スペース)
 全熱交換ユニット + ビル用マルチ室内機 等
 (その他の空調対象室)
換気設備 : 全熱交換機による第一種換気方式 (空調対象室)
 排気ファンによる第三種換気方式 (トイレ・倉庫等)
排煙設備 : 自然排煙方式 及び 排煙免除
中央監視 : 中央監視装置 + 空調集中リモコン
 自然制御設備

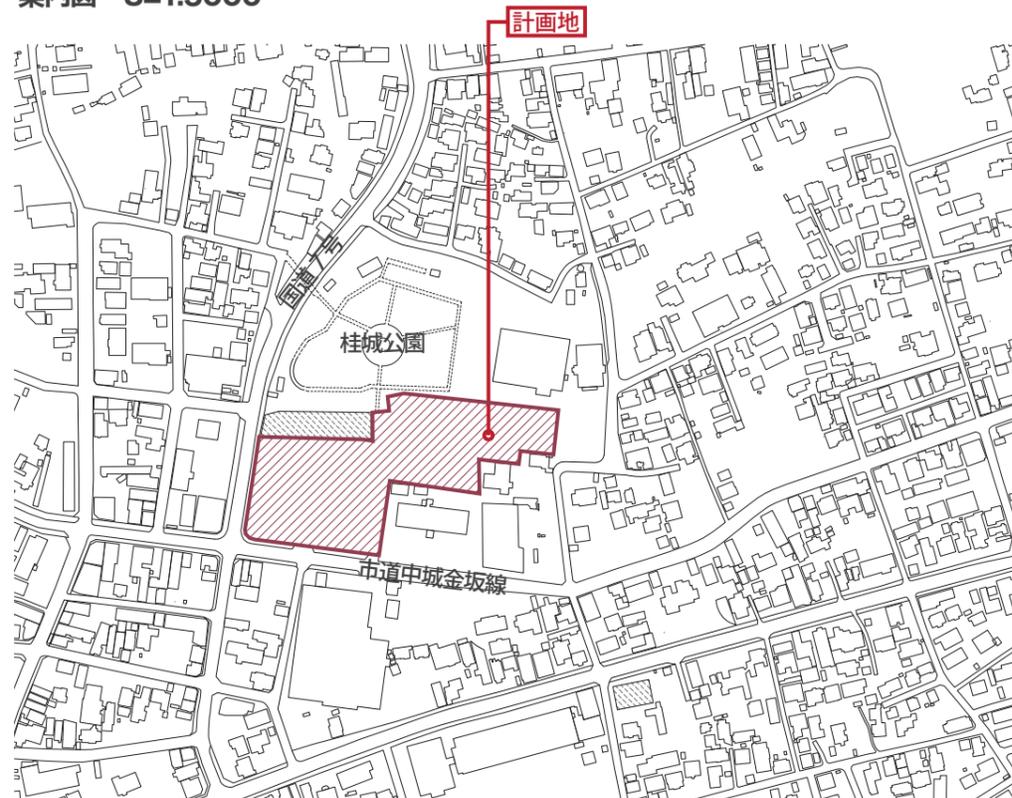
給排水衛生設備概要

上水給水設備 : FRP 製入水槽 + 加圧給水ポンプユニット
雑用水給水設備 : 地下躯体利用 + 加圧給水ポンプユニット
 ※水源は地下水
給湯設備 : 小型電気温水器
排水設備 : 屋内分流 (汚水 + 雑排水) 方式
 ※雨水 : 建築工事
衛生器具設備 : 節水型衛生器具
消火設備 : 屋内消火栓設備、消火器、連結送水器

各棟別床面積

| 【I期】 | 【II期】 |
|--|--|
| 〈庁舎〉…7,330.58 m ² | 〈車寄せ庇〉… 287.42 m ² |
| 〈休憩所 A-C〉… 40.89 m ² (※各棟 13.63 m ²) | 〈休憩所 D・E〉… 19.94 m ² (※各棟 9.97 m ²) |
| | 〈駐輪場 A-C〉… 79.23 m ² (※各棟 26.41 m ²) |
| | 〈バス待合〉… 12.74 m ² |
| 合計…7,371.47 m² | 合計… 399.33 m² (総合計)…7,770.80 m ² |

案内図 S=1:5000



基本方針に対する考え方

【配置計画】

歴史ある桂城公園との調和、景観や機能の一体化を図り、街のにぎわい創出に繋がる配置計画を行います。

まちの中心からまちを活性化する庁舎

- まちの中心「大館城址」という場を活かし、「歴史まちづくり」を推進する、人と情報が集まる庁舎をつくります。
- 「歴史的風致維持向上計画」や周辺の史跡等をめぐる回遊性を重視した建物配置計画とします。

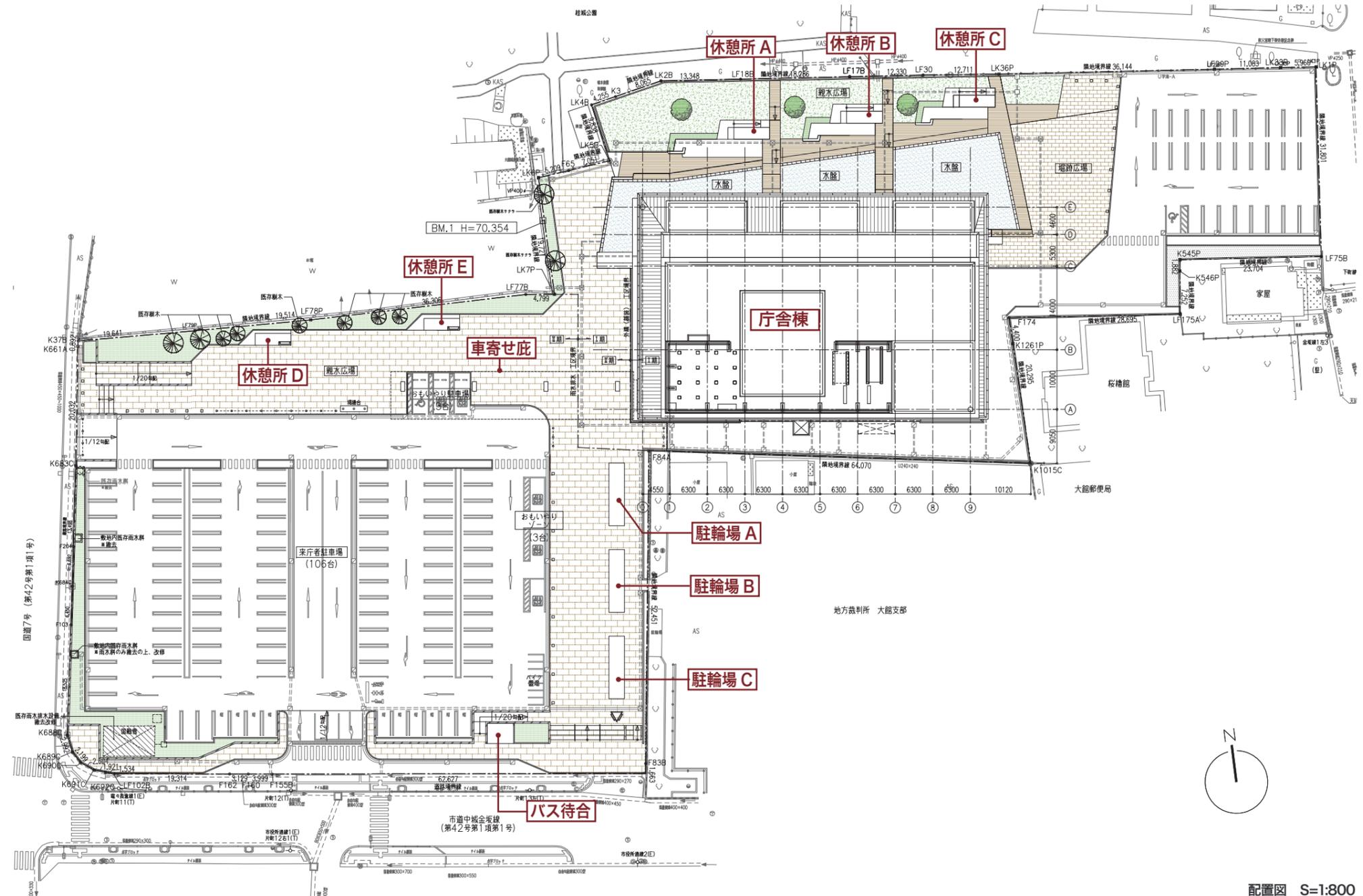
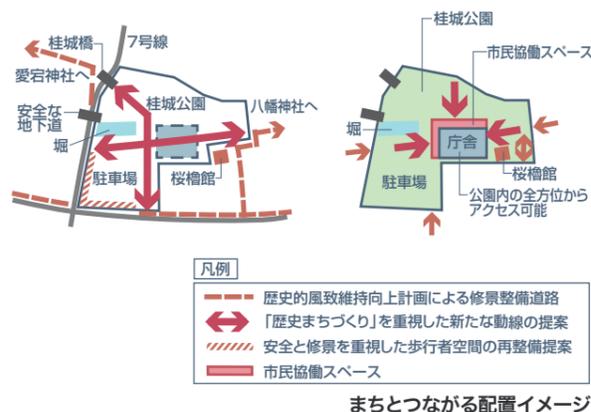


まちとつながり人が集まる配置計画

- 整備する「修景整備道路」に対し、公園内でつなぎ、新たな回遊性をつくる庁舎の配置や動線とします。
- 庁舎がまちと多様なアプローチで結ばれることで、市民が集まり、まちを元気にする賑わいが生まれます。

まちの景観を象徴する庁舎

- 桂城公園に面して開放的な「市民協働スペース」を配置し、様々な方向から気軽にアクセス可能とし市民活動による賑わいが生まれる配置計画とします。
- 公園側に大館城や堀を庁舎と共に現代的に再生した「水盤」を整備します。



【外構計画】

分かりやすく安全な駐車場、動線計画

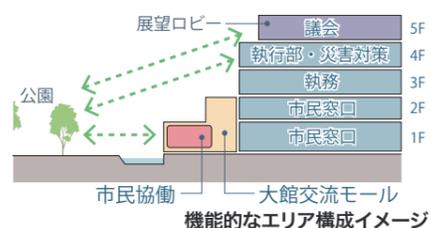
- 現庁舎の位置に来庁舎駐車場を配置し、建物周辺は歩道とすることで明確な歩車分離を行い、安全性を高めます。
混雑を避け安全性を高めるために南側道路に対し、敷地中央部に一般車両の出入口を設けます。
- メインエントランス近くに車寄せと障害者用のおもいやり駐車場を確保します。車寄せ、おもいやり駐車場から雨に濡れずに庁舎にアクセスできる庇を設けます。
- 観光バスやタクシー待合、障害者用の車などが寄りつけるスペースも確保した駐車場計画とします。



【階層計画】

市民・職員・災害対策のつながりを重視した機能的な階層構成

- 市民窓口は1・2階に集約し「大館交流モール」でつながるわかりやすい構成とします。
- 市長など執行部と災害対策本部を4階同フロアとし、災害時の連携が迅速にできる構成とします。



まち・公園とつながり市民活動があふれる「大館交流モール」

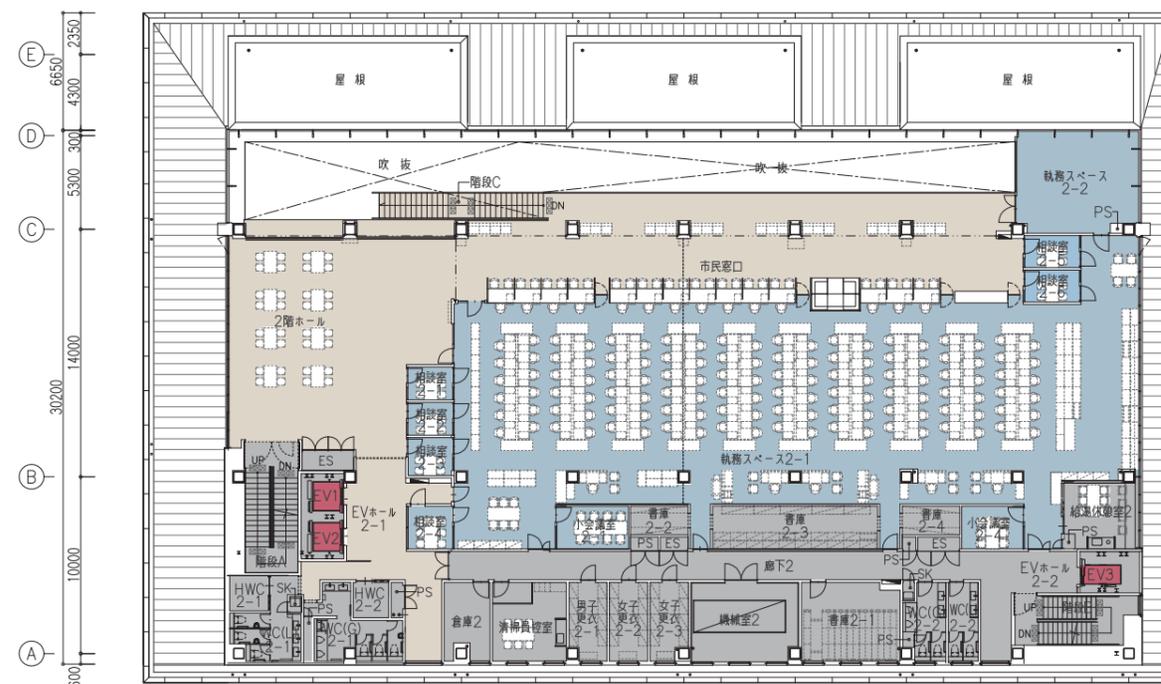
- 市民と行政の協働スペースと連続し、展示会・音楽会・講演会など幅広い用途に利用可能とします。
- 協働スペースと庁舎機能をつなぐことはもちろん、公園との回遊性もつくります。



大館交流モールの使いイメージ



大館交流モールの内観パース



【2階平面図】 S=1:400

1F・2F 「市民利用の多い市民部・福祉部等の部署を配置」

市民が自由に集まり賑わいが広がる平面構成

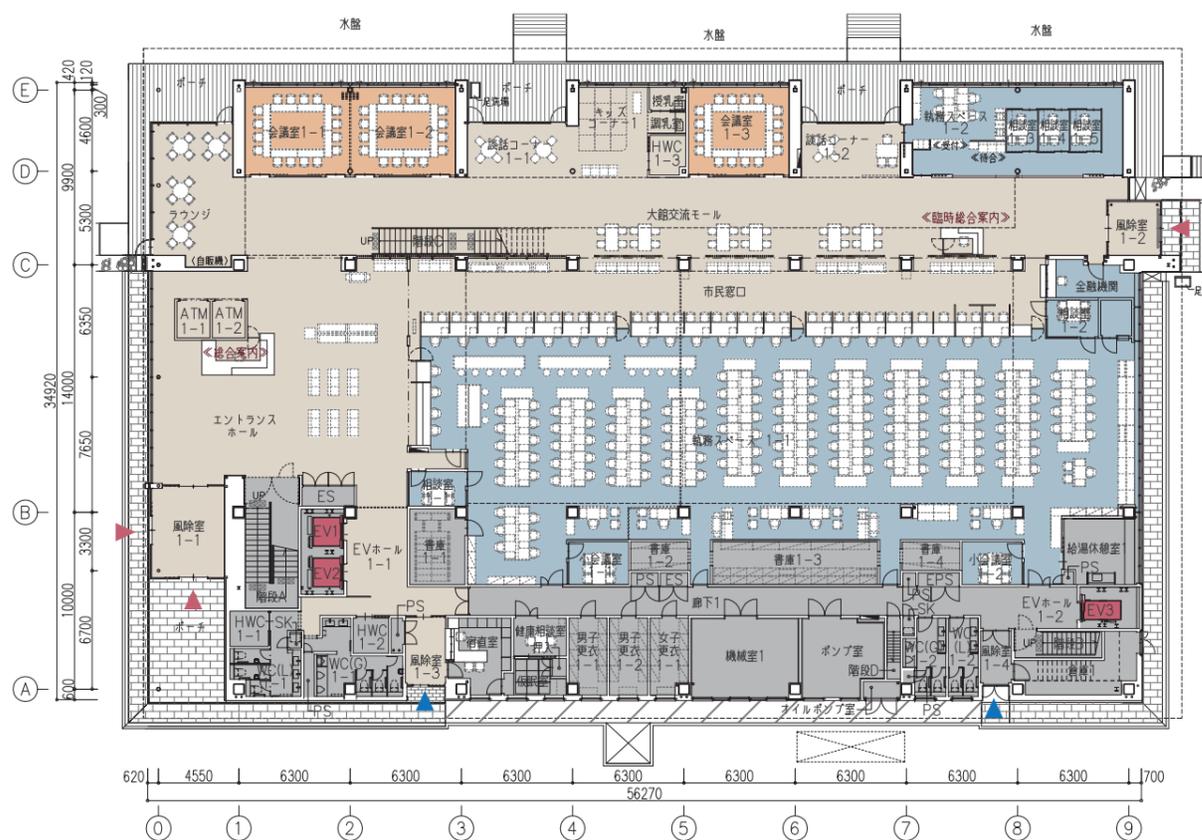
- 「協働スペース兼会議室」はまちや公園に開くことで、市民活動が見え賑わいが広がる計画とします。
- 「大館交流モール」は執務と市民協働スペースをつなぎ外部へ結ばれることで、新庁舎を起点にまち全体が賑わう計画とします。

市民目線に立った利用しやすい庁舎

- 総合案内はエントランスに近い位置に配置します。各窓口や協働スペース兼会議室が見渡せることで、市民活動への参加を促す分かりやすい案内が出来る計画とします。
- 初めて庁舎を訪れた人にもわかりやすく、やさしいサイン計画とします。
- プライバシーに配慮した相談室を複数配置し、それぞれのニーズに沿った計画とします。

人にやさしい庁舎

- 子どもから高齢者まで誰もが安心して利用できるよう、キッズスペースや授乳室を整備し、多目的トイレは各階に配置します。
- 来庁舎用のエレベーターを2機設置し、各階へスムーズに移動することができます。



【1階平面図】 S=1:400



エントランスホールの内観パース

【平面計画・ゾーニング計画】

分かりやすい動線計画・整形でフレキシブルな基準階構成

- ・EVや階段などは両端に配置し、分かりやすい動線計画とします。庁舎機能エリアは機能性と快適性を両立した整形でフレキシブルな計画とします。

3F 【機能的でオープンな執務フロア】

コンパクトで面積効率のよい中廊下形式

- ・執務フロアは最も面積効率の良い中廊下形式を採用します。通路幅は十分な広さを確保し、オープンカウンターとすることで明るい窓口空間を生み出します。

整形でフレキシブルな執務スペース

- ・間仕切りの無いオープンな空間でレイアウト変更が容易なフレキシビリティを確保します。来庁者と職員双方が見通し良く機能的でわかりやすい計画とします。

利用目的に応じた会議室

- ・様々な利用目的に対応可能な会議室を確保しています。

4F 【災害拠点となる執行部フロア】

災害時の迅速な対応を実現

- ・災害発生時に被災状況を的確に把握し、関係機関と連携して速やかに対応・対策が取れるように、防災対策室を中心に市長・副市長室、執務室を近接して配置します。
- ・同フロアには災害対応に必要な資機材等を保管する備蓄倉庫を設置します。
- ・大会議室は可動間仕切を採用することで利用目的に応じて部屋の大きさを変更することができる計画としています。また、災害時には防災対策本部の一部として利用可能です。

5F 【市民開放と独立性を両立する議会フロア】

市民に開かれた議会・傍聴しやすい議会、多目的に利用可能な議場計画

- ・議場には十分な数の傍聴席を確保し市民へ開かれた議会を目指します。また傍聴席には車いす用のスペースも確保し、バリアフリーに配慮した計画とします。
- ・議場家具は可動式とすることで、議会開催時以外は展示会、イベントなど市民が幅広い用途で利用可能な計画とします。

展望ロビー

- ・市内を遠望でき、大文字も見える展望ロビーを整備します。日常は議会の市民傍聴ロビーとして使用する計画です。

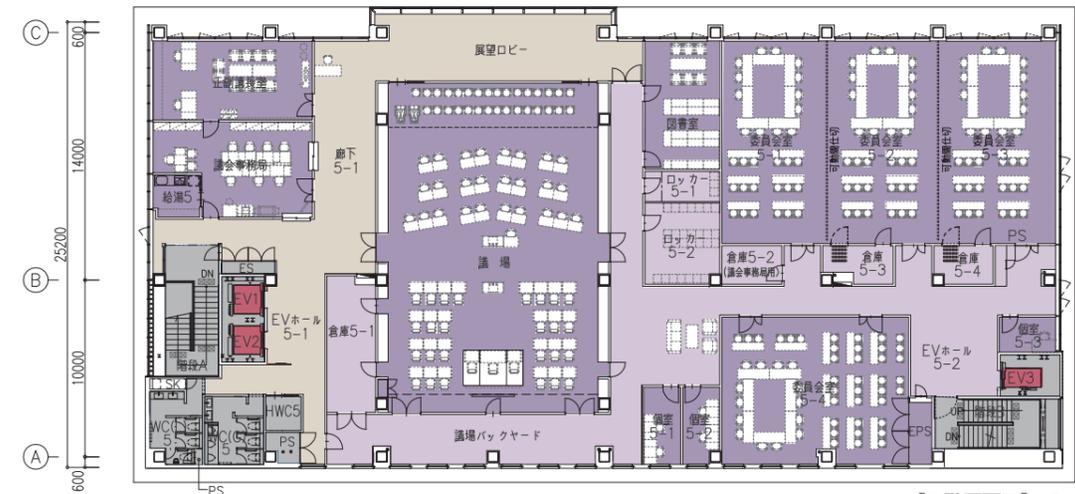
【外装計画・内装計画】

歴史的建造物と調和し、景観に配慮した外装・内装計画

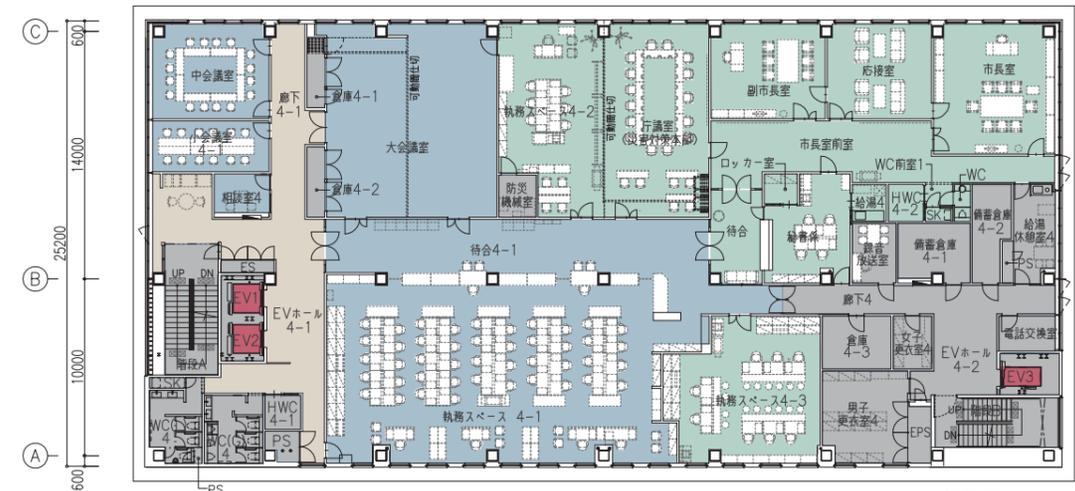
- ・シンプルな材料、質感及び色調で、周辺環境と調和する落ち着いた佇まいづくりを行います。
- ・外装の色彩は、「届出行為景観保全基準色彩ガイドラインの解説」に沿い、彩度6以下の色彩計画とします。また大館らしさを活かした和の要素を取り入れた色彩計画とします。
- ・周辺の歴史的建造物等と調和する、繊細な和の要素を現代的に表現し、市のシンボルとなる庁舎をつくります。



議場の内観パース



【5階平面図】 S=1:400



【4階平面図】 S=1:400



【3階平面図】 S=1:400

